

折尾駅東口『仮改札口』は、現在の「トイレ」の位置になると、平成22年9月発表！！

# 折尾のシンボル、『折尾駅舎』を保存活用しよう！！

## 提 案

「折尾駅舎の中央部分」を、『曳き家』で移動して、「仮改札口」として活用する。  
「仮改札口」で活用後、**両翼を増築**し、当初の『立体交差駅の形』にして保存活用する。



←1階建翼→ 駅舎中央部分 →2階建翼→

「立体交差駅の形」  
「折尾駅」は、『日本最古の立体交差駅』。  
左右対称でない、アンバランスな駅舎の形こそが「立体交差駅」であることを証明。『日本唯一』。  
・筑豊本線の中間側が1階建。  
・鹿児島本線に隣接する側が2階建。  
都道府県レベルの「有形文化財」の価値があると、土木学会や学識者は評価。

## 現 状

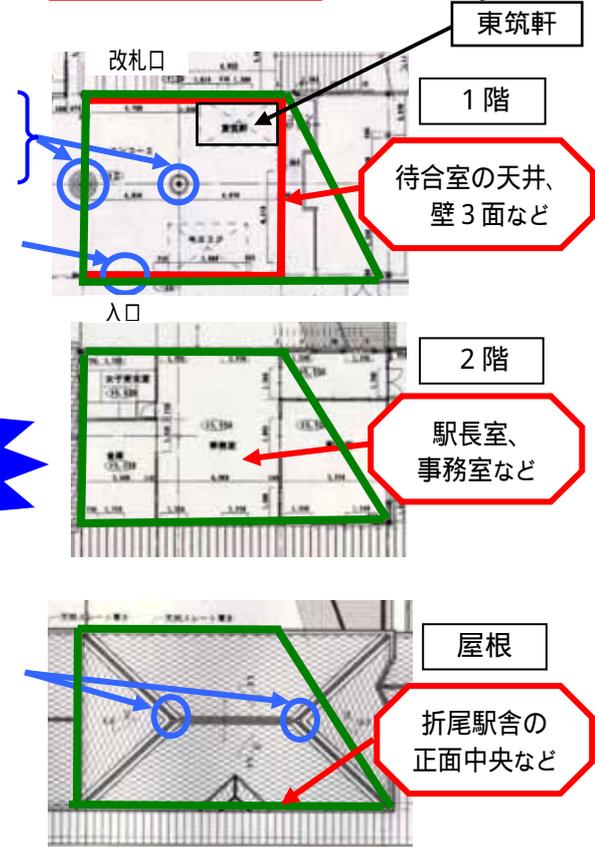
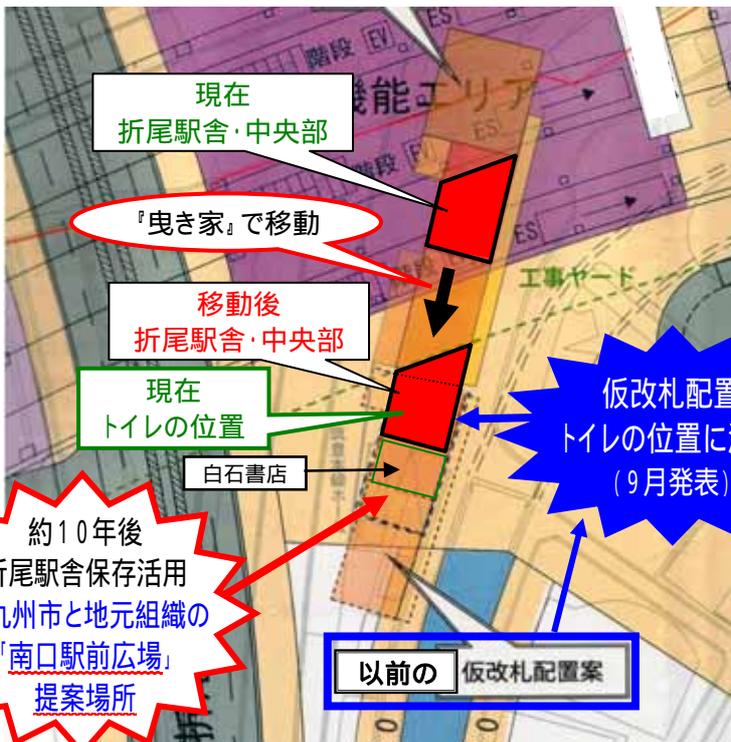
折尾駅舎は、線路高架事業のため、平成22年秋以降に取り壊し予定。  
北九州市と地元組織が提示する「南口駅前広場案」は、『駅舎全体を解体』して約10年後、『レプリカで再築』するために、下記の部材をのみを保管する。

保管部材： 待合室木製ベンチ 待合室化粧柱・柱補強飾り  
待合室格子天井 開口部廻りの装飾 屋根棟飾り



## メリット

『折尾駅舎の中央部』を、保存活用した場合  
折尾のシンボル、『折尾駅舎』として保存活用できる。  
『曳き家』で移動するため、解体・再築が不要になる。  
様々な部材を、現状のまま（本物）で保存活用できる。  
『曳き家』での移動費は、約3千万円（当会調べ）。  
「南口駅前広場案」（2億2千万円）よりも、**大幅な経費削減**になる。



「駅前広場」の名称変更  
現在の「折尾駅舎」のある『東口駅前広場』は、開発後『南口駅前広場』になる。

「歴史遺産『北九州市レトロ』を創る会」 <http://homepage3.nifty.com/orio/> 検索「折尾レトロ」 090-2710-6810  
もし、このチラシがあなたの手元に2部以上届いたら次はあなたが誰かに届けて！道路に落ちていたら拾ってあげてください！